点字と触図で歯科情報を提供

阪大歯病院で実用化に成功

全ての患者へ、分け隔てなく歯科診療の情報を提供したい―。大阪大学歯学部と神戸大学の共同研究チームは、視覚障害のある患者向けに、点字と触図による歯科医療情報提供システム「DENTACT（デンタクト）」を開発した。阪大歯学部附属病院での実用化に成功しており、2013年度グッドデザイン賞を受賞した。森崎市治郎病院長は「全国の国立大学病院、障害者歯科医療機関、歯科医院に対して、簡単に使えるシステムとして普及を呼びかけたい」としている。

㊤既存のパソコンやプリンタを使ってシステムを構築
㊦デンタクトにより作製した触図

保険診療では患者への歯科治療に関する文書情報提供が義務化されているが、視覚障害のある患者が図の入った説明文書を読解するのは困難で、伝わる情報量の差による医療格差、健康格差を危惧する声が上がっていた。

同研究チームは、2006年からデンタクトの開発に着手。医療スタッフ側に点字・触図の知識がなくても、視覚障害のある患者向けに口内の状態や歯科治療の内容などの情報を提供できるシステムを目指した。「分かりやすい触図、点字への正確な翻訳とコスト抑制が課題だった」と振り返る。

点の大きさや線の太さなど、視覚障害者の協力を得て模索。自動点字翻訳プログラムは神戸大学医学部と協力して新規に開発し、市販のパソコン、点字プリンタなどを利用してコストカットを実現した。

提供文書は、患者氏名、歯・歯肉の状態や処置内容、次回の処置予定、担当医、次回予約日などの情報をパソコン上で項目選択および入力して点字プリントする。触図もパソコン上の図に、汚れや処置歯などの情報を入力して印刷し、立体化するだけで作製できる。

導入するためには、パソコンやプリンタのほか、点字プリンタと立体コピー作成機（PIAF）、システムのソフトが必要となる。点字プリンタは約20万円～、PIAFは20万～30万円程度で購入できる。ソフトについては、他の医療機関への提供を視野に調整中。

同研究チームは、「視覚障害のある人が自身の歯、口への興味や理解を深めるだけでなく、情報保障という安心感により歯科を受診しやすくなる」と健康へのモチベーション向上に寄与すると強調。また、グッドデザイン賞の受賞について、「医療機関が障害のある患者さんの情報提供を保障するのは当たり前という考えが医療の世界に広がる契機になってほしい」としている。

間もなく成立する予定の障害者差別解消法では、医療機関を含む公的機関に障害者への配慮義務が定められており、今後、全国の国立大学病院や障害者歯科医療機関、歯科医院だけでなく、歯科以外の医療機関などへの導入を目指していく。

問い合わせは阪大歯学部附属病院障害者歯科治療部TEL06(6879)2280まで。

お知らせ

10月22日は休刊です。次号は10月29日付で発行します。台風26号の影響でお届けが遅くなります。ご了承ください。

「費用など患者説明に

部(局)長らに発出した。(3面に関連)

自由診療分野で不十分な患者説明によるトラブルは消費者庁にも経年的に相談や苦情が寄せられている。

厚労省はこうした状況を改善するため、自由診療分野におけるインフォームド・コンセントに関して特に留意すべき事項をまとめた。

具体的には施術に要する費用（当該費用により受けることができる施術回数や範囲、保険診療での実施の可否含む）や解約条件など、施術を受けようとする者への丁寧な説明を必ず施術前にするよう求めた。施術の有効性および安全性には個人差があるとの説明、即術施行の必要性が医学的に認められない場合には、即日施術の強要などを慎むべきとした。

リアルタイムに

災害時静岡県歯科医院診療状況マップ

た郡市区歯は県・市町村行政および県警の要請等を前提に、システムを通じて、「支援物資」、「歯科医療・口腔ケアチーム」、「身元確認チーム」などを要請。支援する側の郡市区歯は、避難所や仮設歯科診療所、遺体安置所などに出動できる会員を募り、郡市区歯から派遣出動を登録する。県歯は一元化された情報を基に要請と出動をマッチングし、適所に物資や資器材の搬送、出動チームの派遣を行う。基本的に郡市区歯はパソコンから、会員はスマートフォンなどの携帯端末からの操作が可能だ。

県歯では「システムを検証し、訓練など重ねながら実効性を高めていきたい」とコメントしている。

規制されるネット広告

を受けると考えられる。直ちに踏み込んだ行政指導などが行われることはないかもしれないが、もしバナーなどがきっかけで来院した患者との法的トラブルにつながった場合などには、医院側に大きく不利な判断材料の一つになるかもしれない。

今や歯科医院をネットで選ぶことも、決して特殊ではなくなっている。一方で、人目を引くバナーやリンクをたどってきた患者と医院でトラブルが生じることも多くなっている。そしてネットを通じて新患となった人は、医院離れも早い傾向にあるようだ。

歯科医院選びの最も信頼できる要素は口コミと言われている。この原点に立ち返って、患者が患者を紹介してくれるような流れを作る努力は、歯科医療全体からみても決して損にならないと思う。

コムネット
デンタルサポートシステム
医院経営にコミュニケーション力（りょく）を
プラス
実践ツールの宝庫
会員同士で共有しよう！
大好評!!ツールシェアサービス
ネットから　コムネット　歯科　検索

管理医療器機　機能床用短期弾性裏装材　223AFBZX00040000
ビスコゲル　デンツプライ コーク社製
Visco-gel
Temporary Soft Denture Liner
エービーエス株式会社